

科目名	形態機能学 I	単位数	1 単位<必修>	科目区分	看護基礎科目
担当者	塘 総一郎			学年学期	1 年次 前期

[授業概要]

形態機能学 I では、ヒトの体の成り立ちを主として形態から考えてみる。授業ではどうしてそのような形態を携えているのかという事を常に問いかけていくようにする。なるべく知識編重に陥ることを避けるようにして、理解、考察そして討論を中心に授業を進めていく。なるべく板書に努める。

[授業計画]

第 1 回 人体とは何か、細胞と組織

人体内部の腔所、方向と位置を示す用語、細胞の構造、細胞膜の構造、上皮組織

第 2 回 皮膚と膜、骨格系

皮膚の構造、椎骨、骨盤の性差

第 3 回 筋系、循環器系

肩関節の筋、肋間筋、横隔膜、肘関節の筋、回内と回外の筋、股関節の筋、胎児の循環、門脈系

第 4 回 呼吸器系、消化器系

呼吸器系の上部、喉頭、消化器系の概観、肝臓

第 5 回 泌尿器系、生殖器系

泌尿器系の概観、ネフロン、男性生殖器、卵管・卵巣・子宮・膣

第 6 回 人体の発生、内分泌系

卵胞の発育、減数分裂、胎盤、下垂体

第 7 回 神経系、感覚器

脳の正中断、耳(内耳、中耳、外耳)、眼の 3 層

[テキスト及び参考図書]

テキスト：日野原重明他『系統看護学講座 専門基礎 1 解剖生理学』 医学書院

参考図書：適宜紹介する

[成績評価]

定期試験で評価する。

[特記事項]

最新の講義情報については、<http://k.excite.co.jp/hp/u/bloodwood/>を参照のこと。